

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 1 区分
【発行日】平成 17 年 11 月 24 日 (2005.11.24)

【公開番号】特開 2000-120511 (P2000-120511A)
【公開日】平成 12 年 4 月 25 日 (2000.4.25)
【出願番号】特願 平 10-295860
【国際特許分類第 7 版】
F 0 2 N 3/04
【F I】
F 0 2 N 3/04 J
F 0 2 N 3/04 E

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 10 月 3 日 (2005.10.3)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 7
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 3 7】

ボス 1 1 7 の外周には、歯部 1 1 8 a が形成されたピニオンギヤ 1 1 8 が圧入されている。具体的には、ピニオンギヤ 1 1 8 の中心孔は、ボス 1 1 7 の外径と略同一または僅かに大径に形成され、ボス 1 1 7 とピニオンギヤ 1 1 8 との圧入部分を構成するボス 1 1 7 の外周面およびピニオンギヤ 1 1 8 の内周面の少なくともいずれか一方に低温浸硫処理が施されて低温浸硫処理被膜が形成され、その後、ピニオンギヤ 1 1 8 の中心孔にボス 1 1 7 が圧入される。なお、ピニオンギヤ 1 1 8 は、ボス 1 1 7 に一体成形された鍔部 1 1 7 b およびサークリップ 1 1 9 により、その軸方向の移動ができないようになっている。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 4 1
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 4 1】

多段歯車トランスミッション 1 0 2 のカウンタ軸 1 2 3 には、ピニオンギヤ 1 1 8 の回転をトランスミッション 1 0 2 のメイン軸 1 2 6 に伝達するアイドルギヤ 1 2 4 が回転自在に装着されている。したがって、このキック式始動装置 1 1 0 においては、このカウンタ軸 1 2 3 がアイドル軸を構成している。

【手続補正 3】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図 1
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図 1】

